CapStick 捕獲の杖 for Windows Version 1.68

CapStick は、マウスカーソル位置にあるウィンドウやコントロールの 画像をキャプチャーし、クリップボードにコピーしたりファイルに保存 するためのツールです。

キャプチャー画像に対して、サイズ変更やトリミング、減色、モザイク 等も可能。

おまけ機能として、マウス位置のピクセル色取得や、ドロップしたファ イルのアイコン画像取り出し等もできます。 動作環境

Windows XP 以降なら多分だいじょうぶです。

インストール

適当なディレクトリに以下のファイルを置いてください。 また、バージョンアップの際は、ファイルを上書きしてください。

CapStick.EXE プログラム本体 CapStick.CHM このヘルプファイル

最初に起動したときに、そのディレクトリにINIファイル(CapStick.INI) が作成されます。

なお source ディレクトリにはソースコード(C++Builder 10.2.3 用)があり ますので、自由にご利用ください。

アンインストール

インストールしたファイルおよび INIファイル等を削除して下さい。 レジストリは使用していません。

基本的な使い方

取り込み

ツールバー右端にある「捕獲の杖」をマウスでつかんでドラッグす ると、杖の位置にあるウィンドウやコントロール等が取り込まれ、 杖を離すとキャプチャーが確定して、杖はツールバーの横に戻って きます。

確定の際には一旦 CapStick の画面が隠れますので、対象と重なって いたりしていても大丈夫です。直前にアクティブだったウィンドウ なら、アクティブ色で取り込まれます。

*もし重なっている部分がうまく取り込めない場合は、オプション 設定 - 取り込みの「画面が隠れる時間」の値を大きくしてみてくだ さい。

杖を離す時に Cml キーを押していると、キャプチャーを確定するタ イミングを遅らせることができます(デフォルト 3000ミリ秒)。これ を利用すると、待ち時間の間に他のアプリケーションのメニューを 表示させてそれを取り込んだりすることができます。遅延時間は、 オプション設定 - 取り込みの「Ctrl押し下げ時の遅延時間」で指定 してください。

四角形以外のウィンドウはその形状で切り取られます。

なお対象のウィンドウクラス名やウィンドウテキストの内容なども 表示できます。

🖻 コピー

ツールバー左端のコピーボタンを押すと、キャプチャーした画像が クリップボードにコピーされます。このとき、マウスドラッグによ る選択枠があるとその範囲だけがコピーされます。 なお、<u>オプション設定</u> - コピー動作の設定により、コピー直後にア プリケーションを起動したりキーを送ったりすることも可能です。

□ 保存

保存ボタンを押すと、bmp、jpg、png または gif ファイルとして画像を保存できます。このとき、選択枠があるとその範囲だけが保存されます。

なお、<u>オプション設定</u> - 保存動作の設定により、保存直後にアプリケーションを起動させることもできます。

メニュー

メニューボタンを押すと、以下のような項目のポップアップメニューが表示されます。 キャプチャー画面で右クリックしたときにもメニューが出ます。 なお、ピクセル色の表示を有効にしている場合、色表示パネルの右クリックメニューで、取得した色をビットマップ(32×32px or 256×256px)としてクリップボードにコピーできます。

サイズ変更

キャプチャーした画像に対し、サイズの変更(25%、50%、75%、 150%、200%)を行います。

<u>オプション設定</u> - その他 の「サイズ変更のアルゴリズム」で画像補 間法を設定できます。

トリミング

キャプチャーした画像に対し、指定した選択範囲でトリミングしま す。

選択範囲は、キャプチャー画面でマウスドラッグで指定してください。

選択枠はマウスまたはカーソルキーで移動できます。カーソルキー での場合、Shift キーを押していると1ドットずつ、押していなけれ ば枠のサイズ単位で移動します。また、Ctrl キーを押していると、 枠のサイズを1ドットずつ変更できます。

選択枠を消したい場合は、枠外をクリックしてください。

カラー

キャプチャーした画像に対して簡易減色等のカラー処理を行いま す。 モノクロ、16色、256色への減色、グレースケール(256色)、セピア 化、ネガポジ反転が可能です。ただし減色については簡易的な処理 ですので、きちんと最適化したい場合は他のアプリケーションで 行った方がよいかもしれません。

イメージ

キャプチャーした画像に対して、右/左に90度回転、左右/上下反 転、モザイク等の処理を行います。

モザイクでは、選択枠がある場合はその範囲が、そうでない場合は 全体が対象になります。またブロックのサイズは、2、4、8、12の いずれかを選択できます。

カーソル貼り付け

メニューから標準マウスカーソルを選択し、キャプチャー画像上の 貼り付けたい位置で左クリックしてください。貼り付ける前にカー ソルキーで1ドットずつ位置を微調整することも可能です。なお右 クリックするとキャンセルされます。

ファイルからカーソル貼り付け

カーソルファイル(*.cur、*.ani)を読み込んで、キャプチャー画像上 の貼り付けます。貼り付ける前にカーソルキーで1ドットずつ位置 を微調整することも可能です。なお右クリックするとキャンセルさ れます。

元に戻す

サイズ変更、トリミング、カラーやイメージの処理を元に戻します (直前の20回まで)。

表示

クラス名、テキスト、リスト、ステータスバーの表示状態、杖位置 のピクセル色の表示形式、および取り込み画面の背景色を設定しま す。

リストを有効にすると、杖位置がリストボックスやコンボボックスの場合、その項目内容を取得して リスト タブ内のリストボックス に表示します(選択してコピー可能)。

オプション設定

<u>オプション設定のダイアログを表示します。</u>

ヘルプ

ヘルプの目次を表示します。なお F1 キーを押すと、そのときの画 面に応じたヘルプが表示されます。

バージョン情報

バージョン情報を表示します。

また「Webページへ」で CapStick の公開サイトを開きます。

オプション設定

取り込み

取り込みの際の動作について設定を行います。

■杖

杖先端の形状を選べます。

左側の杖は丸部分の中心がホットスポットに、右側の杖は先端が ホットスポットになります。

____ 取り込み時に画面が隠れる時間

確定の際に CapStick の画面が隠れる時間をミリ秒単位で指定します。

もし CapStick の画面が重なっている部分がうまく取り込めない場合は、この値を大きくしてみてください(デフォルト 100ミリ秒)。

└── Ctrl押し下げ時の取り込み遅延時間

杖を離す時に **Cml** キーを押していると、キャプチャーを確定する タイミングを遅らせることができます。この遅延時間を変えたい 場合にミリ秒単位で指定してください(デフォルト 3000ミリ秒)。

■ サウンド

対象変化時

杖を移動中、キャプチャー対象が変化した時に鳴らしたいWAV ファイル名を指定します。

確定時

杖を離してキャプチャーが確定した時に鳴らしたいWAVファイ ル名を指定します。

※ファイル名にドライブ名がない場合は、CapStick.exeのある ディレクトリからの相対指定と見なされます。 ✓ ドロップ時に全てのアイコンを取り込む
 チェックしていると、ドロップしたファイルから複数のアイコンが抽出された場合、その全てのアイコンが取り込まれます。
 チェックを外すと最初のアイコンのみが取り込まれます。

コピー動作

コピーボタンを押してコピーした直後の動作を指定します。 Shift キーを押しながらコピーボタンを押したときは無視されます。

■ アクティブにするウィンドウ

└── ウィンドウのクラス名

🦳 タイトル(前方一致)

_____ タイトル(後方一致)

指定したクラス名、タイトルを持つウィンドウをアクティブ(最小 化されていたら元の大きさに戻す)にします。タイトルは前方一致 /後方一致(両方指定も可)、クラス名は完全一致で判定します。 またどちらか片方を無指定にすると何であっても一致したとみな されます。

ウィンドウが無い場合に起動するプログラム

アクティブにしたいウィンドウが見つからなかった場合、あるい はウィンドウが無指定の場合に、このコマンドラインが実行され ます。

送出キー

アクティブになったウィンドウに対し、指定したキーを送りま す。

使用できるキーは ALT、CTRL、SHIFT、F1〜F12、A〜Z、0〜9 の組み合わせです。

これらを, で区切って並べますが、それらの頭に / があるとキー アップ、なければキーダウンとなります。アップとダウンの数が ちゃんと対応するように注意してください。

例: CTRL + V

CTRL,V,/V,/CTRL

保存動作

保存ボタンで保存する際の動作を指定します。

Jpeg保存品質

保存の際のJpeg圧縮レベル(1~100)を設定します。

デフォルトでは100となっています。あまり下げるとJpeg特有のに じみ等が出ます。

■保存後に起動するプログラム

ファイルの保存後にこのコマンドラインが実行されます。ただ

し、 shift キーを押しながら保存ボタンを押したときは無視されます。

コマンドライン内に "\$F" という文字列があるとそれを保存した ファイル名に置き換えます。ない場合は、コマンドラインの後に ファイル名が付加されます。 ■ サイズ変更のアルゴリズム

画像のサイズ変更を行う際の画像補間法を選択します。

変更履歴

V1.68

・特殊なリストボックスの項目内容を取得しようとした際、異常終 了してしまう場合があるのを修正。取得対象を ListBox と ComboBox クラスだけに制限しました。

V1.67

・開発環境を C++Builder 10.3.1 にアップデート。

・Windows 10 で透明な境界部分を持つテーマを用いている場合、 ウィンドウ外部分を除いてキャプチャーするようにしました。

V1.66

・Ctrl キー押し下げ時の取り込み遅延機能が正しく動作しなくなっていたのを修正(V1.65)。

V1.65

- ・開発環境を C++Builder 10.2.3 にアップデート。
- ・オプション設定で、ホットスポットが先端にある尖った杖を選べ るようにしました。
- ・画像を保存する際に、前回選択したファイルの種類が復元されな くなっていたのを修正。

V1.64

・開発環境を C++Builder 10.2 Tokyo にアップグレード。

・メニュー - 表示 に「リスト」を追加。有効にすると、杖位置がリ ストボックスやコンボボックスの場合、その項目内容を取得してリ ストタブ内のリストボックスに表示します(選択してコピー可能)。

- ・ステータスバーに、杖の座標を表示するようにしました。
- ・杖位置のホットスポットを先端丸部分の中心に変更しました。
- ・表示用の各テキストボックスは編集禁止にしました。また右ク

リックメニューは、必要最小限の項目のみ残して簡略化しました。 ・対象ウィンドウのクラス名やテキストが取得できなかった場合、 直前の内容が残らないようにしました。

V1.63

・杖位置のピクセル色を表示している場合、隣接する9ピクセルを拡 大してツールバー右端に表示するようにしました。

・キャプチャー確定前も、対象のサイズ情報をステータスバーに表
 示するようにしました。

V1.62

・開発環境を C++Builder 10.1 Berlin にアップグレード。

・ランタイムテーマを有効にしました。

・ピクセル色の表示を有効にしている場合、色表示パネルの右ク
 リックメニューで、取得した色をビットマップ(32×32px or
 256×256px)としてクリップボードにコピーできるようにしました。
 ・ヘルプ画面で、Ctrl+F キーによって検索ボックスが開かないのを

修正。

V1.61

・Ctrl押し下げ時の取り込み遅延の際に、プログレスバーで残り時間を表示するようにしました。

 ・メニューに「ファイルからカーソル貼り付け」を追加。カーソル ファイル(*.cur、*.ani)を読み込んで、キャプチャー画像上に貼り付 けます。

・カーソルの貼り付け位置がずれる場合があるのを修正。

V1.60

・開発環境を C++Builder XE6 から C++Builder 10 Seattle にアップグレード。

V1.55

・開発環境を C++Builder XE3 から C++Builder XE6 に変更しました。

・画像の処理に WIC を使用するようにしました。

・オプション設定 - その他 に「サイズ変更のアルゴリズム」を追 加。

・画像の保存形式に TIF を追加。

・「元に戻す」の回数を20回に増やしました。

V1.51

・半透明ウィンドウもキャプチャーできるようにしました(ただし透けた向こう側も一緒に取得)。

V1.50

・開発環境を C++Builder 2007 から C++Builder XE3に変更しました。

・画像を、png および gif でも保存できるようになりました。

・png および gif ファイルもドロップで取り込めるようにしました。

・画像および exe、dll、ico 以外のファイルをドロップした場合、その拡張子に対応したアイコンを取得できるようにしました。

V1.00

・開発環境を C++Builder 5 から C++Builder 2007 に変更しました。

・画像を保存する際に、前回のファイルの種類を復元するようにし ました。

・オプション設定にサウンドのテスト再生ボタンを付けました。

V0.91

・htmlヘルプ(.chm)に移行しました。

V0.90

- ・全てのオプション設定をダイアログで行えるようにしました。
- ・選択枠がない場合モザイク処理ができない不具合を修正。

・ヘルプを作成しました。

V0.88

・タスクバーが上または左側にある場合、起動するたびに画面の位 置がずれていってしまう不具合を修正。

V0.87

・画面状態が正しく復元できない場合がある不具合を修正。

V0.86

・最大化すると、次回起動時に画面状態が復元しない場合がある不 具合を修正。

・メニュー「Webページへ」のURLを変更しました。

V0.85

・開発環境をBorland C++Builder 4 から 5 へ移行しました。

・二重起動しないようにしました。

V0.84

・最大化されたウィンドウ等をキャプチャーしたとき、画面外部分 が入ってしまう不具合を修正。

V0.83

・キャプチャー画面上で右クリックメニューが出るようにしました。

・[Sound] セクションのWAVファイル名にドライブ名がない場合 は、CapStick.exe のあるディレクトリからの相対指定とみなすよう にしました。

V0.82

・Ctrl キーを押しながらキャプチャーすると確定のタイミングを遅らせることができる機能を追加しました(INIファイルで時間設定可

能)。

V0.81

・メニューに「カーソル貼り付け」を追加しました。

・ファイル保存時にアプリケーションを起動するおまけ機能を追加しました。

V0.80

・メニューに「セピア」、「右/左に90度回転」、「左右/上下反 転」、「モザイク」を追加しました。

・画像ファイルをドロップした場合、拡張子が jpe や jpeg の場合も 認識するように修正。

V0.78

・メニューの減色にグレースケール(256色)を追加しました。

V0.77

・メニューに「ネガポジ反転」を追加しました。

V0.76

・トリミング後にコピーや保存を行うと範囲がずれてしまう不具合
 を修正しました。

V0.75

- ・選択枠を、カーソルキーで移動(枠サイズ単位または1ドットずつ) したり、サイズ変更したりできるようにしました。
- ・選択枠がある場合は、その範囲だけをコピー / 保存するように変更しました。
- ・ファイルドロップで、全てのアイコンを抽出できるようにしました。
- ・jpgファイルもドロップで取り込めるようにしました。

V0.71

・メニューに「元に戻す」を追加しました。

・CapStickの画面が対象と重なっていた場合、環境によってはうま く取り込めない場合がある不具合に対処しました。

V0.70

- ・画像をjpgファイルとしても保存できるようにしました。
- ・256色減色がかなりきれいになりました。
- ・杖を移動中にマウスを右クリックするとエラーになる場合がある
 不具合を修正。

V0.65

・コピーボタンを押した時に、アプリケーションを起動したりキー を送ったりする おまけ機能を追加しました。

V0.62

・マウス位置のピクセル色を取得して、RGB、COLORREF、HTML 形式のいずれかで表示する機能を追加しました。

V0.60

・四角形以外のウィンドウは、その形状で切り取るようにしました。

・実行ファイル、DLL、アイコンファイルをドロップすると、その 最初のアイコンを画像として取り込めるようにしました。

・bmpファイルをドロップすると、それを取り込むようにしました。

・取り込み画面の背景色を設定できるようにしました。

・Esc キーでウィンドウを閉じられるようにしました。

CapStick はフリーソフトウェアです。

ソースコードおよびプログラムは、商用・非商用を問わず、自由に複 製・改変・拡張・再配布してかまいません。またその際に作者への連絡 も必要ありません。

ねこみみ/ 須藤 幸一 E-mail: GHH02513@nifty.ne.jp

ねこみみの世を忍ぶ仮のホームページ http://nekomimi.la.coocan.jp/